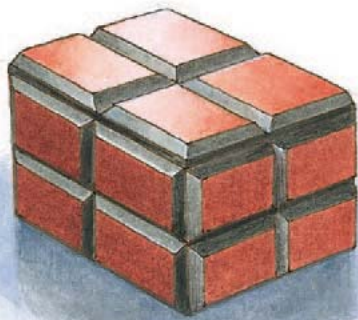


① 生駒塗り

漆工芸の一つ「生駒塗り」は、朱塗りの鮮やかさとその柔らかい手触りといった特性を最大限に生かした工芸品です。東京美術学校で漆芸を学んだ生駒弘、親雄親子が秋田市に「生駒漆芸工房」を設立したのが始まりです。

もともと漆芸品は丈夫で渋いものとされていますが、「生駒塗り」は朱塗りの明るさとデザインの新鮮さ、美しさは全国的に知られ、一つの派として認められています。



② 鑑の松

佐竹氏が寛永8年(1631)に城下町の町割りに着手した際に、付帯工事として松並木を植栽したものだと思われています。今では松並木は存在せず、「鷹の松」とともに当時をしのばせる貴重な木となっています。



③ 仏光庵

当時、遠い菩提寺までお参りすることは困難であったため、各地の集落には小さいお堂や庵寺がありました。仏光庵もその一つです。内部に祀られていた多くの仏像は縁のあったお寺に戻されましたが、ご本尊の観音様は今もあります。



⑦ 正洞院の墓

正洞院は、初代秋田藩主佐竹義宣の夫人で、24歳の若さで亡くなりました。後年、義宣は寺を常陸国から現在地に移しました



④ 田中神明社

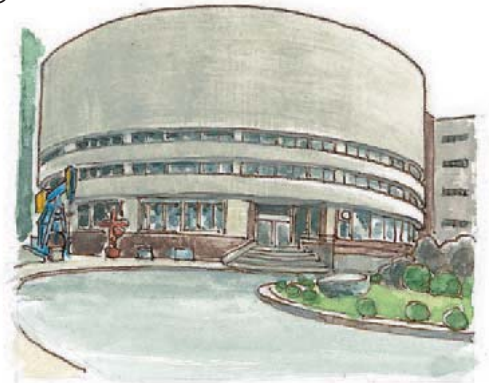
田中神明社の境内には若宮八幡宮と刻まれた石碑があり、かつて扁額にも若宮八幡宮と書かれていたようですが、昭和になって火災により類焼したため詳しくは分かりません。もと川上治左兵衛

衛という武家の氏神であったとも言います。川上氏は立派な武士で、人望が篤かったため、神明社に夫婦の木像が祀られていたとも言われています。例祭は5月1日です。



⑤ 秋田大学鉱業博物館

秋田大学鉱業博物館では、秋田大学の100年にわたる研究教育活動で集めた地質や鉱工業に関連した資料を展示・保管しています。さまざまな色と形の鉱物・鉱石、珍しい岩石や化石を見ながら、地球の歴史や資源の生成について学ぶことができます。また、鉱山で使われている道具や模型・CGを見たり動かしたりすることもできます。



⑥ 平田篤胤墓

平田篤胤は、江戸時代後期の国学者で、本居宣長らとともに国学四大人の一人と呼ばれています。

神道を原点とした日本古来の精神に帰ろうとする国学に強い関心を持ち、多数の著書を著しました。68歳で病没し、墓は自然石の墓石に「平田篤胤之奥墓」と刻まれ、秋田大学の裏手の小高い丘の上にひっそりと眠っています。



⑩ 若宮八幡神社

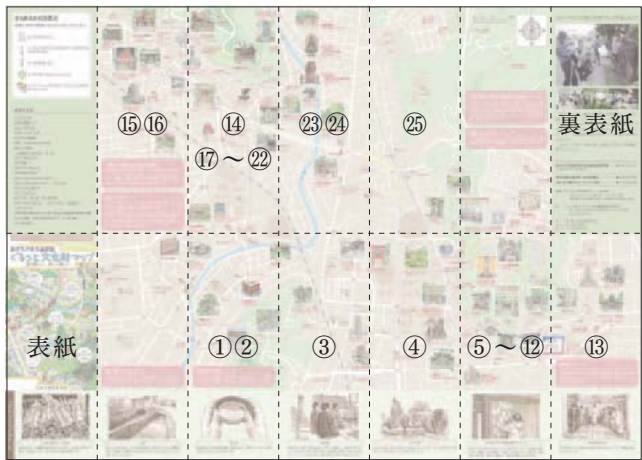
若宮八幡神社は、蛇野遺跡の南斜面に位置しています。このあたりは久保田城下に近いことから、藩政期には





※解説文についている番号は、マップ表面のイラストについている番号に対応しています。

番号の位置 (マップ表面)



⑬ 太平山三吉神社

秋田市のシンボルである太平山の頂上に奥宮(夏季のみ)、広面赤沼に里宮が鎮座します。通称はみよしさん・さんきちさん。北海道から福島北の北日本各地、またブラジルサンパウロに三吉神社の分社があります。

今を去る約1,300年前の天武天皇2年(673)5月、役の行者小角の創建と伝えられ、桓武天皇延暦20年(801)征夷大将軍坂



⑮ 佐竹家霊屋

佐竹家霊屋は、佐竹氏歴代の先祖を祀るためのもので、寛文12年(1672)に秋田藩3代



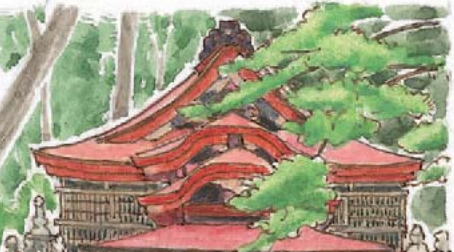


凡例	
	指定・登録文化財
	スーパー
	ガソリンスタンド
	コンビニ



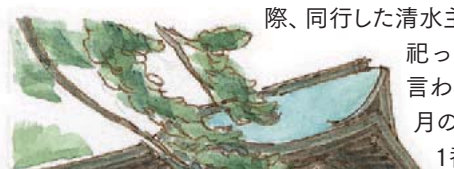
⑮ 佐竹家霊屋

佐竹家霊屋は、佐竹氏歴代の先祖を祀るためのもので、寛文12年(1672)に秋田藩3代



⑱ 熊野神社

熊野神社は、大同元年(806)に白坂右近将監が秋田を訪れた際、同行した清水主水が吉野権現を祀ったことが始まりと言われています。小正月の札打ち順礼の第1番札所です。



広告

秋田チケッ

買い人なら

金 プラチナ・ダイヤ 高価買い取りします!!

商品券、ギフト券、旅行券 各種金券!!

1枚から 高価買取します。 お気軽にお立ち寄り下さい。

格安!! 秋田→東京・仙台・盛岡

JRこまちきっぷ

秋田チケッで賢くおトクに! 安心 買い取り!!

山王店 秋田市役所裏 ☎018-823-5959	秋田駅前店 広小路西武秋田店となり ☎018-831-8500	アルヴェ店 拠点センターアルヴェ1F ☎018-837-6116
--------------------------------	---------------------------------------	--

稲庭うどん新時代

稲庭 舞茸 餛飩

「秋田華まいたけ」使用

稲庭うどんに、独自の製法により「秋田華まいたけ」を練り込んだ、体にやさしいうどんです。

食べて美人に。

秋田県秋田市仁井田産 秋田落粉使用

開発協力 秋田ふき粉会

秋田県内でのお求めは秋田空港売店、トピコ1F、アルヴェ1Fでどうぞ。

ご贈答に最適な「極」シリーズもございます。

だいえんどう 検索

醍延堂 <http://www.daiendou.com>
(有)オー・イー・シー
TEL.018-824-6656 FAX.018-824-6650

広告

広告

本物の味。

やつと出会えた

やかつぎ

とんかつ 他

(千切りキャベツ・ソース付)

1枚から持帰りOK!

※ご予算に合わせていかようにも調整致します。

大人気 ヒレカツサンド!

- ◎米の娘ぶたロースかつ弁当
- ◎とんかつ弁当◎ヒレ一口かつ弁当
- ◎ヒレかつ弁当◎ロースかつ弁当
- ◎エビフライ弁当・お好み弁当

営業時間

山王店(日曜定休)	外旭川店(火曜定休)
〈平日〉 昼 AM11:00~PM 2:00 (ランチメニュー有り) 夜 PM 5:00~PM10:00 〈土日祭日〉 AM11:00~PM10:00	〈平日〉 昼 AM11:00~PM 2:00 (ランチメニュー有り) 夜 PM 5:00~PM10:00 〈土日・祭日〉 AM11:00~PM10:00

商品券・ギフト券使用可能

【外旭川店】
秋田県秋田市外旭川八幡田1丁目1-36
TEL.018-868-6565

【山王店】
秋田県秋田市山王1丁目3-16
TEL.018-866-6544

⑳ 泉福院の不動明王三尊立像

不動明王三尊立像は、右手に智剣、左手に羂索を持ち、脇侍として右側に矜羯羅童子、左側に制吒迦童子を従えています。平成4年の泉福院改築時および平成14年11月に実施された台座銘と光背銘の調査に

㉔ 岩戸神社

岩戸神社の由緒は不詳ですが、秋田都市計画道路事業によって昭和58年11月に改築遷宮し、この時に、献額は洗浄したところ、俳諧の額と判明しました。献額はおよそ180年以前(文化3年から同11年頃迄と推定)のものと、約130年以前(嘉永7年頃)のものが2枚あります。いずれも県内外の俳人たちの俳句です。通称からみでん大日堂と呼ばれ、例祭は4月28日となっています。



の精神に帰ろうとする国学に強い関心を持ち、多数の著書を著しました。68歳で病没し、墓は自然石の墓石に「平田篤胤之奥墓」と刻まれ、秋田大学の裏手の小高い丘の上にひっそりと眠っています。



⑦ 正洞院の墓

正洞院は、初代秋田藩主佐竹義宣の夫人で、24歳の若さで亡くなりました。後年、義宣は寺を常陸国から現在地に移しましたが、明治維新後廃寺となり、現在は墓のみが残っています。



⑩ 若宮八幡神社

若宮八幡神社は、蛇野遺跡の南斜面に位置しています。このあたりは久保田城下に近いことから、藩政期には庭師が多い地域でした。その面影を残す建物などは残っていませんが、造園業に携わる氏子が多い地域です。



⑧ 太子神社

太子神社では、昔、子どもたちが堂内で遊んだり、縄をつけて神像を道路に放置したりしても、不思議と翌日にはもとどおり堂に鎮まっていたと言います。かつて、木彫りの太子像を神輿渡御としてかつぎ出し、市中を巡幸しましたが、この時、通町や大工町などの職人の多い町では、御利益を戴こうとする人たちにより、神像が削りとられていったものだと言います。子どもを好む神様といわれ、職人たちにも信仰されてきました。通称てしこさんとも呼ばれています。



⑪ 本念寺

創建当時は手形野崎に建てられ、そのまま現在地に移したと伝えられています。それ以来、火災や水害などの災禍に遭遇した記録がないので、現存する本堂はその当時のものと推定されます。境内の周囲がうっそうとした杉並木に囲まれているため、別名「杉山本念寺」と称されています。山号は「修行山」ですが、元々は「手形山」であり、音読みにして「修行山」とあてたそうです。境内の入り口に奉祀している三大地蔵尊は、霊験あらたかな地蔵尊として燈火の絶えることがなく、山門横の観音堂は、久保田三十三観音霊場札打ちの第3番札所です。墓域には平田篤胤の生家の墓があります。参道の左側には、横綱を負かしたために非難され出家したという名山（四股名は磯碓）の祠があります。



⑨ 閻信寺

閻信寺には、慶長7年（1602）の国替で秋田入りをした、佐竹義宣の父・義重が眠っています。義重は仙北郡花館村で狩猟中に落馬し、それがもって66歳の生涯を閉じたと言われています。境内には、義重のほか一族や重臣たちも眠っています。秋田三十三観音2番札所となっています。



⑫ 柳沢遺跡

柳沢遺跡は、秋田大学の東側、標高約45mの手形山台地の南東側に位置しています。確認された遺構は竪穴住居跡8軒と土坑1基です。現在は草木が生い茂っています。6号住居跡は長さ15m、幅5mの長方形で規模が大きいため共同作業場や集会所などの施設と考えられます。





⑬ 太平山三吉神社

秋田市のシンボルである太平山の頂上に奥宮(夏季のみ)、広面赤沼に里宮が鎮座します。通称はみよしさん・さんきちさん。北海道から福島の前日本各地、またブラジルサンパウロに三吉神社の分社があります。

今を去る約1,300年前の天武天皇2年(673)5月、役の行者小角の創建と伝えられ、桓武天皇延暦20年(801)征夷大将軍坂上田村麻呂東夷征討の際、戦勝を祈願して堂宇を建立、奉納された御鎧は神宝として今に伝えられます。



⑭ 天徳寺

天徳寺は、秋田藩主佐竹氏の菩提寺です。佐竹氏の国替えによって当初檀山金照寺山の麓に建てられましたが、寛永元年(1624)に火災にあったため、翌2年に現在地に移築されました。延宝4年(1676)に再び火災にあい、同5・6年にかけて、1万石の巨費を投じ再建されました。境内には本堂・書院・総門・山門のほか、藩政時代を偲ぶ佐竹家累代の墓所があります。

江戸時代の曹洞宗寺院の伽藍配置を窺い知ることができます。



⑮ 佐竹家霊屋

佐竹家霊屋は、佐竹氏歴代の先祖を祀るためのもので、寛文12年(1672)に秋田藩3代藩主佐竹義処の時に完成しました。菩提寺天徳寺の本堂西側の一面にあります。周囲を塀で囲まれた広い墓所に歴代藩主とその夫人の墓が並び、中央に御霊屋が建っています。

天徳寺伽藍の建物と一体となって、大名の菩提寺の姿をよくとどめています。



⑯ 天徳寺仁王像



天徳寺山門の右に阿形、左に吽形が一对となって安置され、秋田藩9代藩主佐竹義和の命によって寛政9年(1797)に完成しました。

阿形・吽形ともに頭部を大きく強調した童子を思わせる体形で、忿怒の表情には迫力があり、胸を張った大きな身のこなしが巧みに表現されています。台座に「大仏師七条左京」の墨書銘が確認されており、作者は江戸時代後期に全国的に活躍した京仏師七条左京であることが分かっています。目力!

⑰ 中山菁菴の墓

中山菁菴は江戸時代中期の儒者で、寛政5年(1793)に藩校明道館(のちの明德館)の初代祭酒(館長)になりました。





⑮ 佐竹家霊屋

佐竹家霊屋は、佐竹氏歴代の先祖を祀るためのもので、寛文12年(1672)に秋田藩3代藩主佐竹義処の時に完成しました。菩提寺天徳寺の本堂西側の一面にあります。周囲を塀で囲まれた広い墓所に歴代藩主とその夫人の墓が並び、中央に御霊屋が建っています。天徳寺伽藍の建物と一体となって、大名の菩提寺の姿をよくとどめています。



⑱ 熊野神社

熊野神社は、大同元年(806)に白坂右近将監が秋田を訪れた際、同行した清水主水が吉野権現を祀ったことが始まりと言われています。小正月の札打ち順礼の第1番札所です。



⑯ 天徳寺仁王像



天徳寺山門の右に阿形、左に吽形が一对となって安置され、秋田藩9代藩主佐竹義和の命によって寛政9年(1797)に完成しました。阿形・吽形ともに頭部を大きく強調した童子を思わせる体形で、忿怒の表情には迫力があり、胸を張った大きな身のこなしが巧みに表現されています。台座に「大仏師七条左京」の墨書銘が確認されており、作者は江戸時代後期に全国的に活躍した京仏師七条左京であることが分かっています。目力!

⑰ 中山菁菴の墓

中山菁菴は江戸時代中期の儒者で、寛政5年(1793)に藩校明徳館(のちの明徳館)の初代祭酒(館長)になりました。



⑲ 泉福院

泉福院は、江戸時代前期に五庵山における熊野信仰の修験者たちによって開かれた真言宗の寺院です。不動明王三尊立像はその本尊として祀られています。



⑳ 泉福院の大日如来座像

宝冠を付け、智拳印を結ぶ大日如来座像で、県指定有形文化財になっています。大日如来は密教の本尊で、その光明が遍く一切を照らすことから、遍照または大日と言います。寄木造で玉眼を入れ、漆箔と彩色を施しています。金剛製の宝冠や左肩から右腋にかけた条帛の截金文様などの意匠と技術が優れています。また、光背は当初のものを塗り直しています。膝前部底面に「貞和五己年(1349)九月十八日」、胎内に梵字「ア・バン」(胎藏金剛 両界大日)の墨書があり、南北朝時代の作品です。地元の方々大切に祀られています。





【外旭川店】
秋田県秋田市外旭川八幡田1丁目1-36
TEL.018-868-6565

【山王店】
秋田県秋田市山王1丁目3-16
TEL.018-866-6544

⑳ 泉福院の不動明王三尊立像

不動明王三尊立像は、右手に智剣、左手に羂索を持ち、脇侍として右側に矜羯羅童子、左側に制吒迦童子を従えています。

平成4年の泉福院改築時および平成14年11月に実施された台座銘と光背銘の調査により、京仏師である大仏師院達法橋および長嶋外記の作で、宝永元年(1704)に湯沢佐竹南家7代義安が寄進したものであることが判明しました。地元の方々に大切に祀られています。



㉑ 金砂神社

金砂神社は、佐竹義宣の国替えと同時に、父義重の居城である六郷城内に勧請され、翌々年久保田城築城と共に寺町に遷座しました。その106年後の宝永7年(1710)に現在地に移転し、寺領100石を与えられました。祭典には、和洋裁のお守りとして針が配られました。また、美容の神として崇敬されたため、紅やおしろいの頒布もあり、女性の参拝が多く、お嫁さん選びの祭典としても知られています。



㉒ 如斯亭庭園

如斯亭庭園は、元禄年間(1688~1704)に家臣が秋田藩3代藩主佐竹義処から与えられた土地に「得月店」と称する別荘を建てたのが最初で、藩主の鷹狩りの際の休憩所として利用されていました。

5代藩主佐竹義峯の時に本格的に庭園として整備され、9代藩主義和の時に回遊式庭園ができあがり、「如斯亭」と名付けられました。県内に残る数少ない江戸時代の庭園です。



㉓ 岩戸神社

岩戸神社の由緒は不詳ですが、秋田都市計画道路事業によって昭和58年11月に改築遷宮し、この時に、献額を洗浄したところ、俳諧の額と判明しました。献額はおよそ180年以前(文化3年から同11年頃迄と推定)のものと、約130年以前(嘉永7年頃)のものが2枚あります。いずれも県内外の俳人たちの俳句です。通称からみでん大日堂と呼ばれ、例祭は4月28日となっています。



㉔ 白馬寺

白馬寺は、開創に二つの説があります。一説には、常陸国太田天神林にあった真言宗太平山常樂寺を、天徳寺開山幻室伊蓬が改宗し、経来山白馬寺とし天正元年(1573)に佐竹東家3代義久が菩提所とするため、天文3年(1534)に没した始祖政義を開基に勧請したとあります。

また、天正元年に、始祖の政義が、天徳寺3世護宗洞守(天正4年(1576)没)を勧請して開山したという説もあります。元禄年間に火災となり、現在の本堂は享保11年(1726)の再建です。寺宝に佐竹東家の肖像画、完戒上堂法語、名僧墨跡、覚林の達磨絵などがあります。

